

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 30 年 8 月 1 日
理事長 清野 智

国際会議 2 件の日本（横浜）開催が決定！

～ MICE アンバサダーによる誘致活動が奏功 ～

- 日本政府観光局（JNTO）では、国際会議の日本誘致を推進するため、学術分野や産業界において、国内外に対する強い発信力やネットワークを持ち、「日本の顔」として広報活動や誘致活動に寄与いただける有識者の方々を MICE アンバサダーとして任命し、その活動に対し必要な支援を行う「MICE アンバサダープログラム」を展開しています。
- 今般、MICE アンバサダーによる国際会議誘致活動が実り、以下 2 件の日本（横浜）開催が決定しました。それぞれ 2,000 名程度の訪日が見込まれ、うち 1 件は日本で初めての開催となります。
- 平成 28 年に日本国内で開催された国際 MICE 全体による経済波及効果は、約 1 兆 590 億円（うち国際会議は約 6,789 億円）と推計され（平成 29 年度 観光庁調査結果）、改めて MICE 誘致の効果及び意義に注目が集まっています。
- JNTO は「MICE アンバサダープログラム」を効果的かつ強力に推進、展開することにより、更なる MICE 案件の誘致拡大に努めていきます。

1. 【IEEE 原子核科学シンポジウムと医用イメージングに関する国際会議（2021 年開催予定）

やまや たいが
- 山谷 泰賀アンバサダー



決定した横浜を含む日本国内 3 都市及びカナダ バンクーバーの合計 4 都市の候補都市の中から、サイト評価のポイントであった「空港アクセス」「ホテル選択肢」「周辺環境の魅力」「会場仕様」のすべての項目において、横浜が著しく高い評価を得て、今回の誘致成功となった。

2. 【第 15 回 世界計算力学学会議（2022 年開催予定） - 寺田 賢二郎アンバサダー】

てらだ けんじろう



会議のビジョン“Pursuing the Infinite Potential of Computational Mechanics(計算力学の無限の可能性を追求)”や次世代を担う学生を育成するプログラムの提案が高く評価され、また会議場となるパシフィコ横浜新施設（2020 年完成予定）の魅力も重なり、今回の誘致成功となった。

本件に関するお問い合わせ先：
MICE プロモーション部 豊田、安藤
TEL:03-6691-4852

別紙

| | | | |
|--------|---|-------|------|
| アンバサダー | やまや たいが 教授(国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 計測・線量評価部 チームリーダー 兼務 千葉大学客員教授、横浜市大客員教授、東北大学客員准教授) | | |
| 会議名 | IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference 2021 (IEEE 原子核科学シンポジウムと医用イメージングに関する国際会議) | | |
| 会議概要 | 原子核科学とその医用イメージング応用に関する世界的エキスパートが集まる国際会議で、年に1回開催されている。日本では初めての開催となる。 | | |
| 主催団体 | IEEE NSS-MIC | | |
| 開催予定日 | 2021年10月 | 開催都市 | 横浜 |
| 参加予定人数 | 2,200名(外国人1,850名) | 予定参加国 | 50カ国 |
| 誘致活動 | <ul style="list-style-type: none"> JNTOは、MICEアンバサダープログラムの支援として、誘致提案書作成支援、ジャパンナイト開催支援を行ったほか、2018年4月に行われた開催地決定委員会の視察者による日本国内3候補都市の視察について、誘致主体である「日本学術振興会 産学連携委員会 放射線科学とその応用第186委員会」を通じて、各種支援を行った。 2018年7月に行われた開催地決定委員会において、IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference 2021(IEEE 原子核科学シンポジウムと医用イメージングに関する国際会議)を2021年に横浜で開催することが決定された。 | | |

| | | | |
|--------|---|-------|------|
| アンバサダー | てらだ けんじろう 教授(日本計算工学会 前会長、東北大学 災害科学国際研究所 教授) | | |
| 会議名 | 15th World Congress on Computational Mechanics (WCCM 2022) | | |
| 会議概要 | <ul style="list-style-type: none"> International Association for Computational Mechanics (IACM;国際計算力学連合)が主催する計算力学に関する広範囲な分野を包括する国際会議であり、2年に1回開催される。 日本での開催は1994年(千葉)以来28年ぶり、2回目の開催となる。 | | |
| 主催団体 | 一般社団法人 日本計算工学会 | | |
| 開催予定日 | 2022年7月31日~8月5日 | 開催都市 | 横浜 |
| 参加予定人数 | 3,000名(外国人2,000名) | 予定参加国 | 40カ国 |
| 誘致活動 | <ul style="list-style-type: none"> JNTOは、観光庁、横浜市、横浜観光コンベンション・ビューロー、パシフィック横浜(株)横浜国際平和会議場)と連携し、MICEアンバサダーの寺田賢二郎教授、日本計算工学会、日本計算力学連合を中心とする誘致実行委員会の活動を支援した。 観光庁との連携のもと、文部科学大臣、観光庁長官、JNTO理事長名の招請状を発出した。 国際本部の会議運営事務局を横浜に迎え、会議計画を説明のうえ、会議場、周辺ホテル、市内の視察を実施した。 13th World Congress on Computational Mechanics (WCCM 2018)の開催(7月22日~27日、米国ニューヨーク)に合わせて、IACM(国際計算力学連合)の理事会が開かれ、15th World Congress on Computational Mechanics(WCCM 2022、第15回世界計算力学会議)を2022年に横浜で開催することが決定された。 | | |